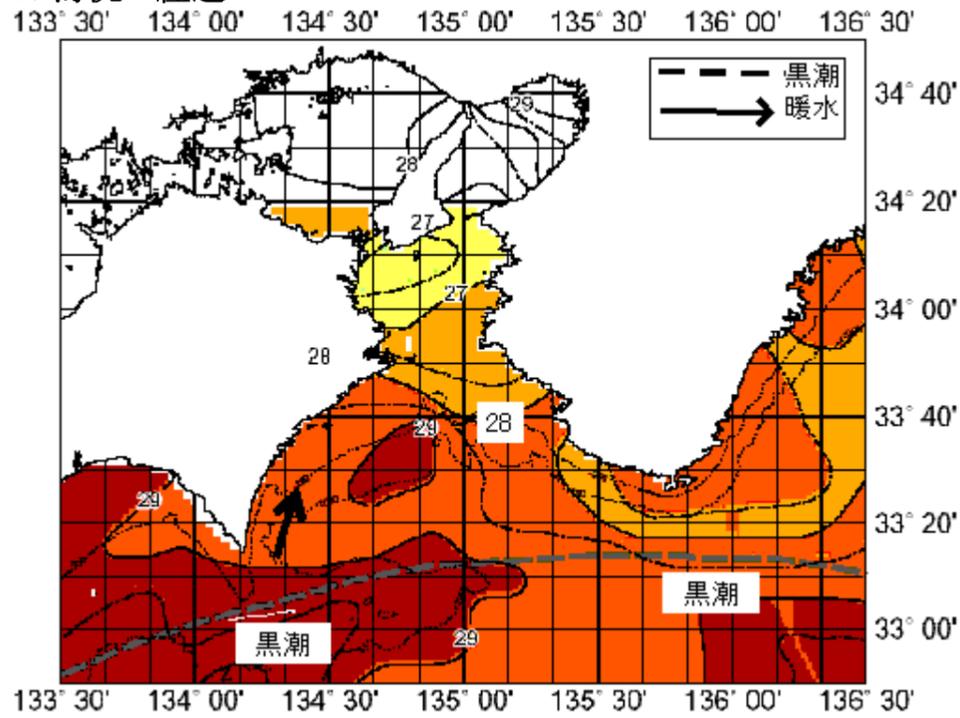


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.08.18)を示した。

黒潮は室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は29～30℃台である。

表面水温は播磨灘が27℃台、紀伊水道内部が26～27℃台、外域が27～29℃台である。

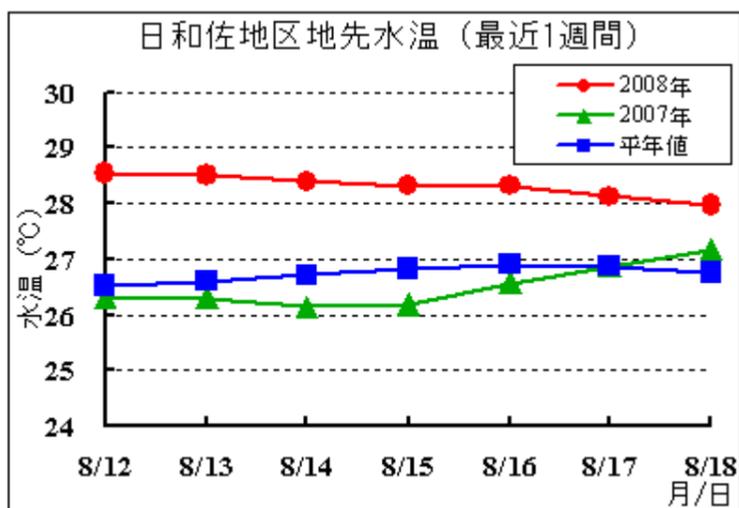
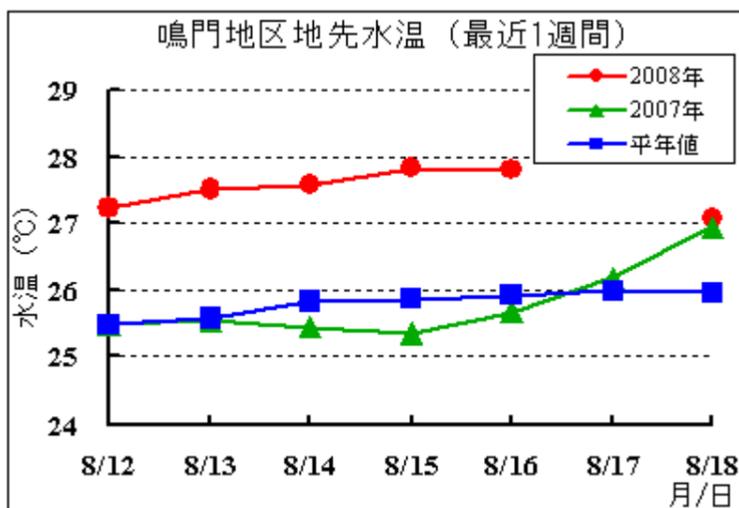
紀伊水道外域においては、徳島県側から、弱いものの黒潮の波及がある。

漁業調査船「とくしま」が8月8,11,12日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～10m層が「やや高め」の25.7～27.1℃、20～30m層が「平年並み」の23.5～24.5℃、50m層が「低め」の19.1℃であった。

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	27.1	25.7	24.5	23.5	19.1	今年値	32.4	32.7	33.0	33.3	34.4
平年偏差	1.3	1.0	0.3	0.1	-1.9	平年偏差	0.7	0.1	-0.1	-0.1	0.2
前年偏差	1.8	1.5	1.0	0.4	-2.0	前年偏差	0.7	0.0	0.0	0.1	0.5

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の27.1～27.8℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の28.0～28.6℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の27.7～28.9℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

期間中、お盆のため休漁となり、出漁日数が制限された。

**小型定置網:**海部沿岸で、小小主体にカマス類が0.4トン(1日1隻当たり19kg)、小小主体にマアジが0.9トン(同114kg)、マサバが0.4トン(同131kg)、マルソウダが0.3トン(同19kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大主体にゴマサバが0.5トン(同76kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが、0.3トン(同24kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが28.8トン(同438kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 08月11日～08月17日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	カマス類	20	377	19	小小主体
		マアジ	8	914	114	小小主体
		マサバ	3	394	131	
		マルソウダ	18	338	19	
釣り	紀伊水道	ゴマサバ	6	453	76	大主体
		タチウオ	14	337	24	特大主体
パッチ網		シラス	66	28,875	438	

### 特異事項:

播磨灘・紀伊水道北部において、ミズクラゲが出現している。

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬及び潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の27℃台、日和佐地先で「やや高め」の28～27℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県のひき縄で、カツオが0.4トン(1日1隻あたり3kg)、キハダが0.3トン(同3kg)、釣りで、スルメが2.4トン(同9.4kg)、イサキが1.0トン(同4kg)、マアジが0.2(同1.0kg)、パッチ網でシラスが1.5トン(同82kg)水揚げされた。

### \*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上